

今月の特集 木の性質

株式会社ナガイ内

住まい教室 金谷教室

Q.木材を使うことは環境を守ることになるのですか？

A.木材を循環的に使うことは、環境を守るという面では、二酸化炭素吸収効果、省エネ効果、炭素貯蔵効果、化石燃料抑制効果があります。

木材を循環的に使うことは、環境を守るうえで以下のようない点があります。二酸化炭素吸収効果：森林は地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)の吸収源になります。京都議定書では、日本のCO₂排出削減量の2/3を森林が担うことを目標としています。なお、森林のCO₂吸収能力は、成長期の若い森林ほど高く、間伐すればさらに高まるとされています。

炭素貯蔵効果：木材は健全な状態であれば、長期間、二酸化炭素を放出せずに炭素を貯蔵することができます。木材を住宅や建築物として長期利用することは、街中に炭素を貯蔵することになります。

もちろん木材を燃料として利用するとCO₂は排出されますが、このCO₂は木材が成長するとき、もともと大気中から吸収したものですから、全体として大気中のCO₂増加にはつながりません。

以上のように、国産材を循環的に使うことが、森林整備を進め、地球温暖化防止に貢献し、循環型社会や低炭素社会の形成につながります。



図 木材循環利用²⁾

～木材・木造住宅のQ&Aより～

諏訪原城史跡整備工事が完了しました。

昨年の11月より行われていた、諏訪原城ガイダンス施設工事が完了しました。歴史・発掘資料などを展示し、入口にはスタンプ台を設置します。3月21日落成式・オープンを予定しています。



蓬萊橋の架け替え工事が始まりました。

今年も昨年同様、蓬萊橋（平成9年12月ギネス認定「世界一長い木造歩道橋」）の架け替え工事を受注し、木工事を開始しています。今回は全長897.4mのうち、牧之原側 4径間（1径間約10m）を行います。

架け替えの工事期間は**平成31年2月19日～3月28日**です。また今年は、昨年建設されたやくなし茶屋と、公衆トイレの間に渡り廊下を建設中です。



ホームページアドレス <https://www.e-house.co.jp/nagai/>

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 電 (0547) 45-3501